



2025年7月10日

各 位

会 社 名 寿スピリッツ株式会社
 (URL <https://www.kotobukispirits.co.jp/ja/index.html>)
 代 表 者 名 代表取締役社長 河越誠剛
 (コード：2222 東証プライム)
 問 合 せ 先 常務取締役グループ経営管理本部長
 松本 真司
 T E L 0859(22)7477

2026年3月期第1四半期の売上状況(概算)について

2026年3月期の第1四半期(2025年4月1日～2025年6月30日)の売上状況(概算)についてお知らせいたします。

第1四半期売上高(概算)16,976百万円 前年同期比 9.3%増

セグメント別売上状況

(単位：百万円)

	第1四半期(4月～6月)			
	当四半期	前四半期	増減	増減率
シュクレイグループ(注1)	8,079	7,513	566	7.5%
ケイシイシイ	4,891	4,423	468	10.6%
寿製菓グループ(注1)	3,818	3,359	458	13.6%
販売子会社	1,779	1,740	38	2.2%
その他	100	132	△32	△24.2%
セグメント計	18,668	17,170	1,498	8.7%
調整額(注2)	△1,691	△1,643	△48	—
合 計	16,976	15,526	1,450	9.3%

(注1) 従来「シュクレイ」及び「九十九島グループ」は、それぞれ独立セグメントとしておりましたが、2025年4月1日付で実施した連結子会社間の組織再編(会社分割)に伴い、当四半期より統合し、セグメント区分を「シュクレイグループ」に変更しており、前四半期との比較は、変更後の区分方法により作成した数値を使用しております。また、「寿製菓・但馬寿」としていた報告セグメントの名称を当四半期より「寿製菓グループ」に変更しております。

(注2) 調整額は、セグメント間の内部売上高であります。

〔補足説明〕

当第1四半期(4月～6月)の事業環境は、高額品を中心にインバウンド消費の減速が一部に見られるとともに、物価高騰などにより個人消費の伸び悩みが続くなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。そのような中、当社グループは、商品力・売場力・販売力のバリューアップ対策の推進及びインバウンド対策の強化などの事業施策に注力いたしました。その結果、当期間の売上高(概算)は、前年同期比9.3%増の16,976百万円となる見込みであります。

なお、当期間のインバウンド売上(国際線ターミナル売上)は前年同期比14.8%増の2,646百万円となる見込みであります。

〔業績予想について〕

2026年3月期の第2四半期(累計)及び通期の業績予想につきましては、本資料の公表時点では、本年5月13日公表の業績予想からの変更はありません。

なお、当第1四半期の決算発表は、本年8月1日(金)の予定であります。

以 上